徳島大学埋蔵文化財調査報告書　第３巻

常　三　島　遺　跡　２

－工学部実習棟地点・地域共同研究センター棟地点－

２００６

国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室

上：地域共同研究センター棟地点出土しめなわ文茶碗ほか陶器類
下：「徳島藩御城下絵図」（明治２～３年、徳島県立博物館蔵）

序　　文

このたび、徳島大学常三島キャンパスの地下に眠る埋蔵文化財に関する２冊目の調査報告書を刊行するはこびとなりました。

本書は平成４年（1992 年）９月に実施した工学部実習棟の建設に先立つ試掘調査と、平成５年（1993 年）に実施した地域共同研究センター棟の建設に伴う発掘調査の成果をまとめたものです。共に近世徳島藩の武家屋敷跡に対する考古学的調査であり、本書では資料報告とともに、常三島地区の武家屋敷がいかなる実態であったのか、また出土遺物は歴史学上どのような意味をもつのかについて論じています。

徳島城下町遺跡については、今回の調査以前に本格的な発掘調査が行われたことはなく、いわば未踏の領域でした。工学部実習棟の建設工事を始める際に地下の埋蔵文化財の取り扱いについて学内協議を行った結果、まず遺跡の保存状態を確認することと、学術的価値を確定することを主たる目的として試掘調査を行うことになり、徳島県教育委員会や徳島市教育委員会など関係諸機関の協力を受けながら調査を実施しました。近世の埋蔵文化財の取り扱いに対する本学としての基本方針が定まっていなかったこともあり、模索の年だったといえます。折から平成４年４月には本学に埋蔵文化財調査室が開設されたので、ここに調査を委ねました。

この試掘調査結果を受けて、地域共同研究センター棟の建設を行う際には、事前に正式な発掘調査を実施する方針を定め、平成５年以降は常三島キャンパスの再開発を進める際には埋蔵文化財調査を組み込む体制が整いました。その意味で、地域共同研究センター棟新営地の埋蔵文化財発掘調査は、本学にとって記念すべき第一歩だったといえます。

その後蔵本キャンパスと常三島キャンパスで同時並行的に再開発が本格化し、発掘調査の実施に当面の主眼を置かざるをえなかったこともあって、現地調査終了の整理作業に着手できない状態が長く続きました。また当時の遺跡調査担当者の転出もあって、報告書の刊行が大幅に遅れましたことをお詫びいたします。

最後になりましたが、発掘調査・整理作業にあたり、ご協力・ご助言を賜った学内・学外の関係者の皆様、および本書の執筆と編集に携わった埋蔵文化財調査室の前室長、東海大学文学部の北條芳隆氏に感謝いたします。

平成 18 年 3 月 31 日

国立大学法人徳島大学

学長　**青　野　敏　博**

例　　言

1．本書は、1992（平成４）年と1993（平成５）年に徳島大学埋蔵文化財調査室が実施した、徳島大学工学部実習棟新営に伴う埋蔵文化財試掘調査および地域共同研究センター棟新営に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告書である。現在、工学部実習棟は機械実習棟と呼称され、地域共同研究センター棟は知的財産本部等を含めた「産学官連携プラザ」という総称施設名が使用されている。

2．整理作業は、北條芳隆・橋本達也・北條ゆうこ・中村豊・山本愛子・岸本多美子・久米（旧姓上田）淑子・中原（旧姓井本）尚子・原多賀子・安山かおりが主に担当し、堺圭子・平田順子が補佐した。

3．実測図のトレースは、加登哲子・岸本多美子・堺圭子・重見美緒子・板東美幸・平田順子・山本愛子が担当した。

4．遺跡の写真撮影は、北條芳隆が担当し、遺物の写真撮影は、中原計が担当した。

5．本書の執筆は、第１章、第２章第１節・２節・４節、第３章第１節・２節・４節、第４章と、第２章第３節のなかの金属製品・石製品、第３章第３節のなかの金属製品・石製品を北條芳隆が行い、第２章第３節と第３章第３節の残りを安山かおりが行った。後記は定森秀夫が執筆した。執筆分担は目次に明記したとおりである。

6．本書の編集は、北條芳隆と定森秀夫が行った。

7．本書で用いた方位は磁北である。

8．本書で取り扱う調査成果品としての遺物・写真・図面類はすべて徳島大学埋蔵文化財調査室で保管している。遺物の実測図については、当初網羅的な報告を目論んだために膨大なものとなっており、本書で割愛することになったものが数多くある。こうした図面類を含め、研究資料として、あるいは生涯学習関連の教材としても広く活用されることを期待する。

謝　　辞

本書で取り扱った２件の発掘調査にあたっては、現地において次の方々にお世話になった。歴史地理学の分野からは、近世の標準海抜の問題と武家屋敷地の立地関係について徳島文理大学の日下雅義氏と、本学総合科学部の平井松午氏に有益なご教示を賜った。また（財）徳島県埋蔵文化財センターの久保脇美朗氏からは調査の進め方にかんするご教示をいただいた。

また整理作業にあたっては、鳴門市立鳴門工業高等学校の日下正剛氏と、佐賀県立九州陶磁文化館の大橋康二氏、京都大学埋蔵文化財研究センターの千葉豊氏に出土遺物の同定調査にあたってきめ細かなご教示をいただいた。また絵図面や文献探索については、徳島県立博物館の天羽利夫氏（当時）や長谷川賢二氏にさまざまなご配慮をいただいたほか、所蔵絵図を本書の巻頭図版へと掲載することをお許しいただいた。さらに古文書調査および解題については、東海大学の曽根總雄氏にご指導いただいた。これらの方々に深く感謝申し上げる。

目　　次

第１章　遺跡の概況と発掘調査の経緯（北條芳隆）…… 1
第１節　遺跡の地理的・歴史的環境…… 1
第２節　調査に至る経緯と調査経過…… 2
１．工学部実習棟地点…… 2
２．地域共同研究センター棟地点…… 4
第３節　調査体制…… 6

第２章　工学部実習棟地点の調査成果 …… 9
第１節　層序（北條芳隆）…… 9
第２節　遺構（北條芳隆）……10
１．区画溝……10
２．柱穴・土坑群……13
３．その他の遺構……15
第３節　出土遺物……15
１．磁器（安山かおり）……15
２．陶器（安山かおり）……19
３．土器・土製品（安山かおり）……24
４．瓦（安山かおり）……26
５．金属製品・石製品（北條芳隆）……27
第４節　小結（北條芳隆）……28

第３章　地域共同研究センター棟地点の調査成果 ……30
第１節　層序（北條芳隆）……30
第２節　遺構（北條芳隆）……30
１．遺構の概要……30
２．第１遺構面……33
３．第２遺構面……39
第３節　出土遺物……42
１．磁器（安山かおり）……42
２．陶器（安山かおり）……52
３．土器・土製品（安山かおり）……66
４．瓦（安山かおり）……71
５．金属製品・石製品・特殊遺物（北條芳隆・安山かおり）……74
第４節　小結（北條芳隆）……77

第４章　総括（北條芳隆）……79
第１節　調査段階の所見とその後の修正過程……79
１．屋敷区画施設の誤認……79
２．武家屋敷に伴う施設と明治期の遺構の誤認……80
第２節　考古学的成果……81
１．しめなわ文茶碗の発見と現時点における歴史的評価……81
２．武家屋敷出土の投網用錘鋳型が意味するもの……83
３．考古学的成果のまとめ……87

後記―特殊遺物の解釈を兼ねて―（定森秀夫）……90

挿 図 目 次

第１図　常三島遺跡位置図…… 1
第２図　調査地位置図…… 1
第３図　常三島遺跡発掘調査地点図…… 2
第４図　工学部実習棟地点の調査風景…… 3
第５図　常三島キャンパスにおける発掘調査地点の位置関係…… 5
第６図　地域共同研究センター棟地点の調査風景…… 6
第７図　常三島遺跡における武家屋敷の配列関係…… 7
第８図　工学部実習棟地点の基本層序…… 9
第９図　工学部実習棟地点検出遺構配置図…… 11
第10図　工学部実習棟地点検出遺構図・写真⑴…… 12
第11図　工学部実習棟地点検出遺構図・写真⑵…… 14
第12図　工学部実習棟地点遺構出土磁器…… 16
第13図　工学部実習棟地点包含層出土磁器…… 18
第14図　工学部実習棟地点遺構出土陶器…… 20
第15図　工学部実習棟地点包含層出土陶器…… 22
第16図　工学部実習棟地点出土土器…… 23
第17図　工学部実習棟地点出土土製品…… 25
第18図　工学部実習棟地点出土瓦…… 26
第19図　工学部実習棟地点出土金属製品・石製品…… 27
第20図　地域共同研究センター棟地点の基本層序…… 31
第21図　地域共同研究センター棟地点第１遺構面検出遺構配置図…… 32
第22図　方形水溜遺構・井戸実測図…… 34
第23図　方形水溜遺構立面実測図・写真…… 35
第24図　地域共同研究センター棟地点第１遺構面検出遺構実測図…… 37
第25図　地域共同研究センター棟地点第２遺構面検出遺構配置図…… 40
第26図　地域共同研究センター棟地点出土磁器⑴…… 43
第27図　地域共同研究センター棟地点出土磁器⑵…… 45
第28図　地域共同研究センター棟地点出土磁器⑶…… 46
第29図　地域共同研究センター棟地点出土磁器⑷…… 47
第30図　地域共同研究センター棟地点出土磁器⑸…… 49
第31図　地域共同研究センター棟地点出土磁器⑹…… 51
第32図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑴…… 53
第33図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑵…… 55
第34図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑶…… 56
第35図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑷…… 58
第36図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑸…… 59
第37図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑹…… 60
第38図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑺…… 62
第39図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑻…… 63
第40図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑼…… 64
第41図　地域共同研究センター棟地点出土陶器⑽…… 65
第42図　地域共同研究センター棟地点出土土器⑴…… 67
第43図　地域共同研究センター棟地点出土土器⑵…… 68
第44図　地域共同研究センター棟地点出土土器⑶…… 69
第45図　地域共同研究センター棟地点出土土製品…… 70
第46図　地域共同研究センター棟地点出土瓦⑴…… 71
第47図　地域共同研究センター棟地点出土瓦⑵…… 72
第48図　地域共同研究センター棟地点出土瓦⑶…… 73
第49図　地域共同研究センター棟地点出土金属製品… 74
第50図　地域共同研究センター棟地点出土石製品…… 75
第51図　地域共同研究センター棟地点出土石臼・特殊遺物…… 76
第52図　しめなわ文茶碗をめぐる威信財交換モデル… 83

表　目　次

第１表　常三島遺跡（徳島大学構内）発掘調査一覧表 ……2

図 版 目 次

巻頭図版　地域共同研究センター棟地点出土しめなわ文茶碗ほか陶器類・「徳島藩御城下絵図」
図版第１　工学部実習棟地点の全景・検出遺構
図版第２　工学部実習棟地点遺構出土磁器
図版第３　工学部実習棟地点包含層出土磁器
図版第４　工学部実習棟地点遺構出土陶器
図版第５　工学部実習棟地点包含層出土陶器
図版第６　工学部実習棟地点出土土器・土製品
図版第７　工学部実習棟地点出土瓦・金属製品・石製品
図版第８　地域共同研究センター棟地点の全景・遺構面の状況
図版第９　地域共同研究センター棟地点第１遺構面検出遺構(1)
図版第10　地域共同研究センター棟地点第１遺構面検出遺構(2)
図版第11　地域共同研究センター棟地点第１遺構面検出遺構(3)・第２遺構面の状況
図版第12　地域共同研究センター棟地点出土磁器(1)
図版第13　地域共同研究センター棟地点出土磁器(2)
図版第14　地域共同研究センター棟地点出土磁器(3)
図版第15　地域共同研究センター棟地点出土磁器(4)
図版第16　地域共同研究センター棟地点出土磁器(5)
図版第17　地域共同研究センター棟地点出土磁器(6)
図版第18　地域共同研究センター棟地点出土陶器(1)
図版第19　地域共同研究センター棟地点出土陶器(2)
図版第20　地域共同研究センター棟地点出土陶器(3)
図版第21　地域共同研究センター棟地点出土陶器(4)
図版第22　地域共同研究センター棟地点出土陶器(5)
図版第23　地域共同研究センター棟地点出土陶器(6)
図版第24　地域共同研究センター棟地点出土陶器(7)
図版第25　地域共同研究センター棟地点出土土器(1)
図版第26　地域共同研究センター棟地点出土土器(2)
図版第27　地域共同研究センター棟地点出土土器(3)・土製品
図版第28　地域共同研究センター棟地点出土瓦
図版第29　地域共同研究センター棟地点出土金属製品・石製品・特殊遺物